



第七卷 第五號

發行所 館民和 館書良 所人良 行發所 行所 城村公 方城村 方城編 荒木印 冷牟田 八幡市 八幡市 八幡市 八幡市

# 村政について

三菱方城礦業所

勤労課長

尾崎

努

編集子から村行政の批判について一文を要請されたが、これはなかなか当り触りのある難題である。もとく批判には責任が伴うし、批判するには実態の把握が前提となる。平素の不勉強で村行政の実態を余り知らない私は、従って批判する根本的資格に欠けていることになる。恥しいことだが、本紙前号で高津助役の慨歎された村議会の傍聴も、殆どしたことのない者の一人である。とい

って、そう度々編集子に御迷惑をかける訳にもいかないので、村政の一端について主観的な雑感を述べて責を免れ度い。

## 一、文化村とどういふことか

文化方城村の名前は天下に喧伝されてゐる。処で文化とは何ぞや、と聞くことになるとなかなか難しい。パンとコーヒーで朝食をすませ、夏は扇風機、冬は電気ストーブで温度を調節し、電気洗濯機で主婦の時間を節約し、洋風の応接間で椅子に腰掛けて外国映画を鑑賞する生活様式が文化生活の全てではあるまい。文化

欠くことなき様相を次第である。緑は平和を意味する。醜い争のない平和な方城村、こちらを再軍備反対論や、二つの平和のはたしなき論議に較べ、如何にも垢抜けた芸術的表現である。全村緑陰で書を繰く、思ふだけで素晴らしい。読書、清潔、緑化、当に文化の本質を穿ち得て妙である。

## 二、自治とどういふことか

自治とは自ら修めることである。治國平天下の道は修身齊家に発する政治の本質は自治である。自治には最近流行の主体性の確立が前提になる。主体性の確立を主張すれば、当然責任が伴う。自治とは責任行政である。村政の是非は村民の生活に直ぐさま響く。効果は顕面である。従

って村政に当る者は、小心翼々として醒めても村民の幸福が念頭から離れない。一國の宰相は動まっても村長は動まらないと云はれる所以でもある。

議員諸公についても同断で、選挙区を遠く離れた東京での国会議員の行動とは違つて、その一挙手一投足が批判的になる。従つて身を慎み正義公平の士にならざるを得ない。村行政こそ、当に硝子箱の中に曇りなき大明行政でなければならぬ。瓜田に履を入らず、李下に冠を正さず式の潔癖性が強く要請される所以である。

民主主義政治は自治に始まり自治に終る。民主化のバロメーターは自治である。村行政の簡明は大きい。従つて特に全体的視野に立つ公平感が強く要請される。何が喫緊の施策

であり、何が公平な施設であるかは観念でなく体をもつて感得する。選挙の為人気取りのボス行政の排除される所以である。

## 三、愛郷心について

公民館活動に於いて、特に力を注いで欲しい点は愛郷の念の養成である。アメリカ占領行政による日本人の精神分断の所産かも知れないが、愛郷心か愛郷とか云へば、反動だ、逆コースだと叫ばれるので、事さら口にするを避ける傾向がある。愛郷は人間本然の私情である。志を立て、郷土を愛する、郷土を愛するは郷土を愛するの故郷である。愛するに値する美しい村の建設のため、萃村一致虚心に施策を講ずべきである。

## 四、教育について

本年度歳出総額五千四百円中教育費は一千九百五十円、三六%である。勿論伊方小学校改善費が一千二百円含まれてはいるが、村費中に占める学校教育費の比重は平素でも相当高いと思はれる。学校施設には、必要にして十分な経費を計上しなければならぬ。それは学校の充實を望む村民の声である。他村に比を見ないPTAの熱心な教育活動もここに淵源する。教育委員、PTAの協力活動が常に、批判的立場に立脚して行はれてゐる点に、深い敬意を表するものである。

教員という言葉が最近頻々として使はれてゐる先生という精神的敬称に較べて教育労働者の臭味が強い。なる程、斗争は先生組合ではピンと来ないで、どうしても教員組合でなければならぬだろうが、私はやはり先生という言葉を愛惜する。教育

の信念を燃えた朴訥な風格を懐くのは私一人ではあるまい。見果てぬ夢を子に託してゐる愚な父兄として先生方にこの愛の風格を望むのは決して無理であらうか。ドイツがナポレオンの馬蹄に蹂躪された時、祖国ドイツの復興を国民に訴えた哲人フイテは教育の重要性を絶叫した。敗戦により失はれた魂は教育によって奪回されねばならない。その教育とは施設ではない。

# 特に赤痢豫防に就いて

診療所 渡辺 医師

【夏期の衛生】  
雨期から夏期にかけては消化器系の病気が多く、伝染性の赤痢、疫病等の流行期である。消化器系の伝染病としては此の外、腸チフス、バラチフス等があるが、赤痢は何と云つても夏期伝染病の王者である。夏期には消化器系系即ち胃腸の抵抗力が低下すると共に、不潔な水や腐敗した食物、未熟な果物等を飲食する機会が多く、一方気温が高いので病原菌の繁殖が盛んとなり、又此等の病原菌を媒介する蠅等の昆虫類が多いこと等が、夏期に消化器系の伝染病が多く、下痢患者が多くなる原因である。

赤痢は終戦後一時少くなって居たのであるが、食糧事情の好転と共に其の数を増し毎年多数の患者を発生して居る。方城村に於ても毎年多数の赤痢患者の発生を見居り、今年も二月頃より次々に赤痢が發生して居り、現在尚数名の患者が、伝染病舎に収容されて居る。

烈々火を吐く愛郷愛郷の熱意をもつ教育者その人にある。 X X X 村当局、議員諸公、教育委員、先生方の愛郷の念を基調とした、絶えざる奮闘によって村民の全てが「心に太陽を、唇に歌を」もって、明期に日々を築き進めたい。文化方城村を建設されんことを切に念じてやまない。

赤痢は腸炎の一種で、腸の粘膜に炎症が起る。赤痢の感染源が多くなつたこと、及食糧事情が好転したため、外食、余食等感染機会が多くなつたこと等が赤痢流行の原因であると云はれて居る。此の保衛者即ち赤痢菌を糞便に排出する人は、一説では、大体赤痢患者として届け出られて居る者の二〇倍